



(19)

(11) Publication number:

01308672 A

Generated Document.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN(21) Application number: **63141226**(51) Intl. Cl.: **B41J 21/18** B41J 29/00 B41J 29/42(22) Application date: **07.06.88**

(30) Priority:

(43) Date of application
publication: **13.12.89**(84) Designated contracting
states:(71) Applicant: **NEC CORP**(72) Inventor: **KANEDA TATSUHIDE**

(74) Representative:

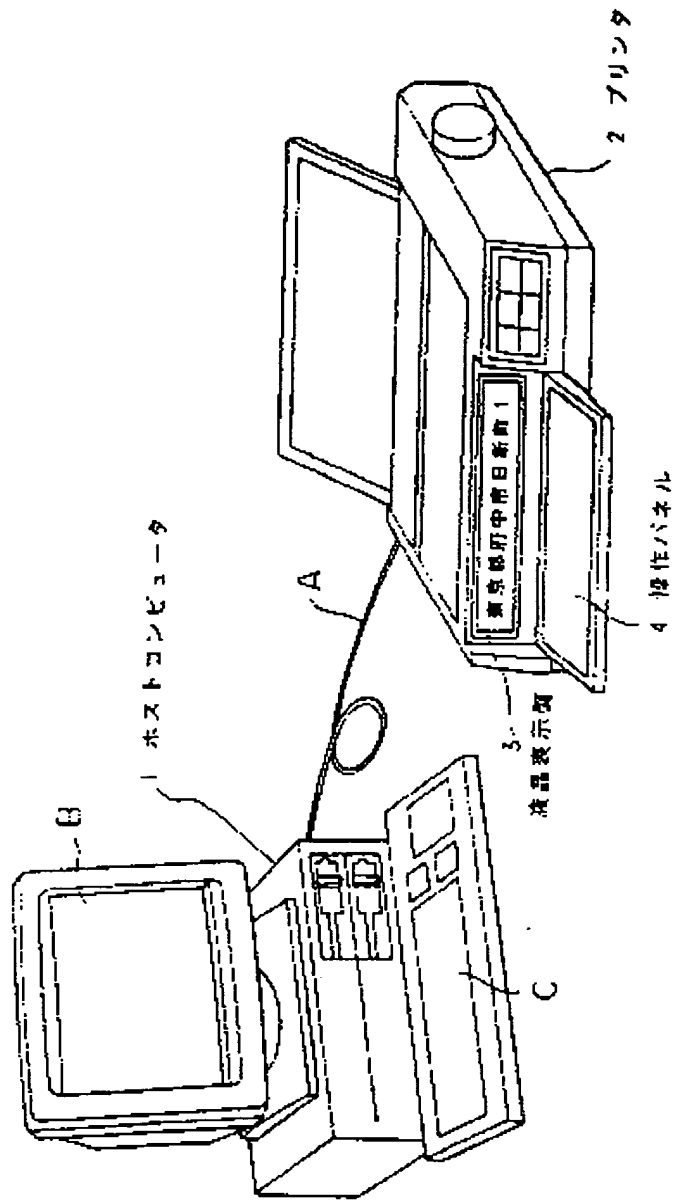
**(54) PRINTER WITH
SENTENCE EDITING
FUNCTION**

(57) Abstract:

PURPOSE: To edit a sentence in terms of a character string or a character line while referring to an actually printed result and to edit the sentence by a simple operation in a short time by providing a memory for storing a transferred sentence, a display board for visually displaying part of the sentence, and a control panel for setting printing conditions in a printer.

CONSTITUTION: A printer 2 with a sentence editing function is connected by a cable A to a host computer 1 having a CRT screen B and a keyboard C. A sentence to be printed is formed on the screen B by the keyboard C. The formed sentence is transferred to the printer 2, and stored in a memory provided in the printer. A liquid crystal display board 3 provided in the printer 2 visually displays the sentence transferred from the computer 1 only in the number of characters to be displayed from its

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio



⑫ 公開特許公報(A) 平1-308672

⑤Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬公開 平成1年(1989)12月13日

B 41 J 21/18
29/00
29/42

7810-2C

T-6822-2C

F-6822-2C 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 文章編集機能付きプリンタ

⑯特 願 昭63-141226

⑰出 願 昭63(1988)6月7日

⑱発 明 者 金 田 辰 英 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

文章編集機能付きプリンタ

2. 特許請求の範囲

ホストコンピュータに接続可能な文章編集機能付きプリンタにおいて、

前記ホストコンピュータにより作成されて転送された文章を記憶するメモリと、

転送された文章の中から任意に選択した文字列を表示する表示盤と、

印字条件の設定操作を行う操作パネルと、

上記印字条件に基づいて文章を記憶する登録用メモリと、

を有することを特徴とする文章編集機能付きプリンタ。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、文章の編集機能を有するプリンタに関する。

〔従来の技術〕

従来のプリンタは、プリンタ自体に編集機能を持たず、プリンタに接続したホストコンピュータにおいて、ワープロソフト(ワードプロセッサ機能を実現するソフトウェア)を利用して、CRT画面上で文章の編集をしている。すなわち、プリンタはホストコンピュータ側で作成した文章を単に印刷するだけであった。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来のプリンタにおける文章編集方法では、ワープロソフトを使用するため、印字しようとする文字列に対して、字体、文字間隔、改行幅(行間隔)等の、細かな印字条件が設定できないので、思惑通りの文章を印字することが困難であった。また、CRT画面上では、一画面に表示できる文字数に限界があり、字体、改行幅等の印字条件を設定しても、設定通りのレイアウトで文章を画面上に表示できないことがある。したがって、実際に印刷した結果と画面表示とがかなり隔たっていることがあり、この点でも、思惑通りのレイアウトの文章を印刷することができないとい

う欠点もある。さらに、ワープロソフトのない場合は、拡大指定、字体指定等のコマンドを含むプログラムによって、文章をプリンタに印刷させることになる。この場合は、所望のレイアウトの文章を得るためには、印字結果を見ながらその都度プログラムを修正しなければならず、極めて面倒な操作を必要とするという欠点がある。

本発明の目的は、所望の文章編集が簡単にできてその編集結果を記憶することのできる文章編集機能付きプリンタを提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するため、本発明の文章編集機能付きプリンタは、ホストコンピュータに接続可能な文章編集機能付きプリンタにおいて、前記ホストコンピュータにより作成されて転送された文章を記憶するメモリと、転送された文章の中から任意に選択した文字列を表示する表示盤と、印字条件の設定操作を行う操作パネルと、上記印字条件に基づいて文章を記憶する登録用メモリと、を有している。

内部に設けたメモリに記憶される。プリンタ2に設けた液晶表示盤3は、ホストコンピュータ1から転送されてきた文章を、先頭から表示可能な文字数だけ可視表示する。プリンタ2は編集用操作パネル4をも有する。

次に、本発明のプリンタにおける編集作業を第2図を参照して説明する。第2図は編集用操作パネル4上のキー配列と表示部配列の一例を示す平面図である。カーソルキー5を操作することにより、転送された文章の任意の部分を液晶表示盤3上に表示させることができる。そこで、カーソルキー5と印字文字列設定キー6とを操作して、印字したい文字列を、転送された文章中から選択する。次に、各種のキーを操作して印字条件を設定していく。すなわち、改行幅設定キー7、文字列先頭位置設定キー8、拡大・縮小設定キー9、印字方向設定キー10、文字幅設定キー11、フォント設定キー12、モード設定キー13、文字修飾設定キー14、文字色設定キー15、テンキー16を操作して、印刷すべき文字列の改行幅、文

〔作用〕

プリンタの表示盤は、ホストコンピュータで作成されて転送されてきた文章の一部を可視表示する。操作者は、これに基づいて、プリンタの操作パネルで、印字条件を設定することにより文章編集を行う。したがって、実際の印刷結果を参照しながら、文字列単位または行単位で文章編集を簡単に実施できる。また、編集した文章をプリンタの登録用メモリに登録できるので、再編集や、文章の挿入、削除等が簡単に実施できる。

〔実施例〕

次に、図面を参照して本発明の実施例を説明する。

第1図は本発明の一実施例を含む文章作成システムの構成図である。文章編集機能付きプリンタ2は、ケーブルAにより、CRT画面BとキーボードCを備えたホストコンピュータ1に接続してある。印字しようとする文章は、従来通り、キーボードCを使用してCRT画面B上で作成する。作成した文章はプリンタ2へ転送され、プリンタ

文字列先頭位置、字体、文字色等を設定する。

次に、印字キー17を押して、その文字列の印刷を行なう。実際に印刷された文字列を観察し、適切ならば登録キー18を押し、プリンタ2に設けた登録用メモリに、編集した文字列を記憶させる。一方、印刷結果が不適切で、変更を行う場合は、変更すべき項目に対応するキーを押して再編集を行ない、再度印字キー17を押して再編集後の文字列をプリンタで打出し、適切か否かを確認する。適切なときは登録用メモリに記憶させ、不適切なら適切になるまで再編集を繰返す。

なお、実際に印字しなくても適切であると予測できる場合は、その文字列をプリンタで打出すことなく登録用メモリに記憶させることができる。

登録キー18を押して文字列を登録用メモリに記憶させる際、登録される文字列に登録番号が順次付けられる。したがって、いったん登録した文字列の印字条件を変更する場合は、テンキー16により、変更したい文字列の登録番号を文字番号表示部23において指定し、変更キー19で再編

集することができ、この再編集した文字列を印刷することも再登録することもできる。登録した文字列を削除する場合は、削除すべき文章列の登録番号をテンキー16により文字番号表示部23において指定し、削除キー20を押せばよい。

各文字列の改行幅は、第1印刷位置(行)から順次加算する型式のものを採用しており、第1印刷位置からの改行幅の合計(以下、改行量という)が各文字列毎にメモリに記憶されている。したがって、すでに登録された文章の途中に新たな文字列を挿入したい場合は、登録する際、改行幅ではなくて、第1印刷位置からの改行量を、テンキー16により改行量表示部22で指定し、挿入キー21を押して挿入し、登録すればよい。

登録した文字列をすべて印刷する場合は、第1印刷位置を起点として改行量の少ない文字列(すなわち第1行目)から順次印刷される。また、テンキー16と改行量表示部22とを利用して、印刷したい文章の範囲を改行量により指定し、印字キー17を押すことにより文章を部分的に印刷す

ることもできる。さらに、文字列単位で印刷を行いたい場合は、印刷すべき文字列の登録番号を指定し、印字キー17を押せばよい。

[発明の効果]

以上説明したように本発明は、ホストコンピュータにより作成されて転送された文章を記憶するメモリと、その文章の一部を可視表示する表示盤と、印字条件の設定操作を行う操作パネルとをプリンタに設けたことにより、実際に印刷した結果を参照しながら文字列単位または行単位で文章の編集を簡単に実施できる効果がある。また、従来と違ってワープロソフトを使用する必要がないため、簡単な操作で短時間に文章の編集を行うことができる効果もある。さらに、編集した文章を登録できるので、プリンタ自体で文章の保存が可能となり、文章の挿入や削除も簡単にできるという効果もある。

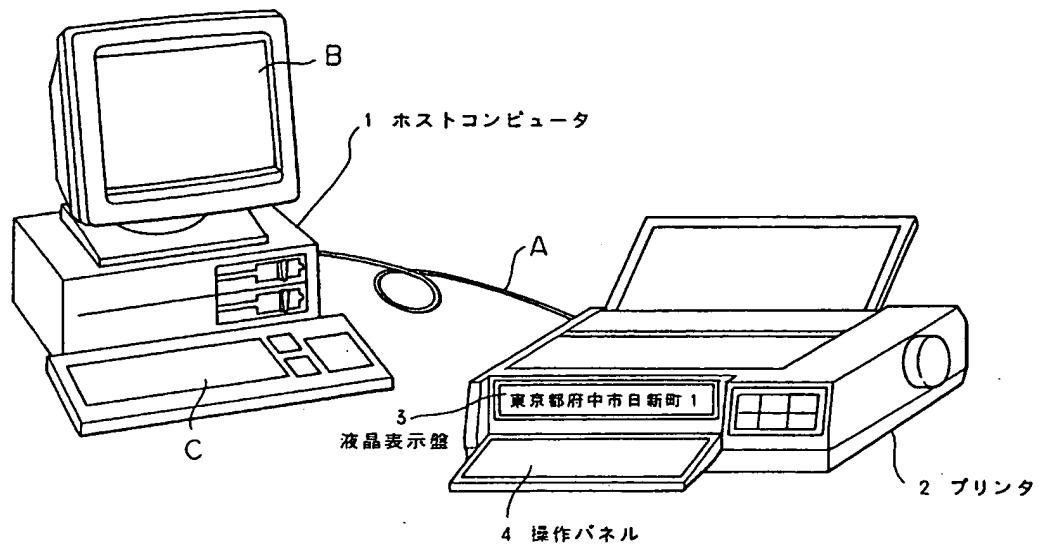
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例に係るプリンタを含む文章作成システムの構成図、

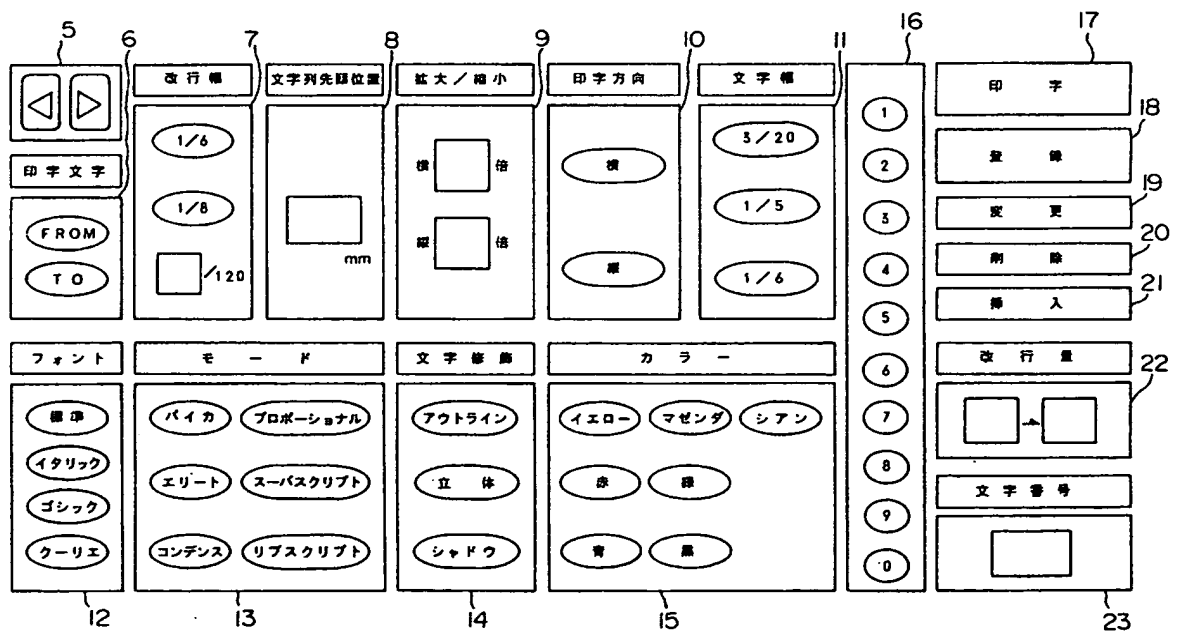
第2図は第1図のプリンタの操作パネルのキー配列と表示部配列の一例を示す平面図である。

- 1…ホストコンピュータ
- 2…プリンタ
- 3…液晶表示盤
- 4…操作パネル

特許出願人 日本電気株式会社
代理人 弁理士 内原 晋



第 1 図



第 2 図